

2026年10月23日

サントリー株式会社

10月20日(火)発売の新ブランド「THE ^ザ DRY^{ドライ}」から、新 WEB-CM シリーズ公開

大人たちの日常の奮闘を

古舘伊知郎さんがプロレスしながらに熱く実況！

“1日を戦い抜いた大人たち”が帰宅後に「ダァー—！」

10月23日(金)より公開

サントリー(株)は、“ノドがうなる”ような刺激感が特長のRTD新ブランド「THE ^ザ DRY^{ドライ}」から「THE DRY〈グリーンレモン〉」と「同〈グレープフルーツ〉」を10月20日(火)に全国で新発売しました。それに伴い、古舘伊知郎さんが実況・ナレーションを担当する新 WEB-CM シリーズを、10月23日(金)に公開します。

「THE DRY」は、のどごしやキレといった「刺激」を求めるビールユーザーに、1日を戦い抜いた後に飲んでいただきたいRTDブランドです。本 WEB-CM では、日常にある“闘いの場”として、多忙な仕事のシーンを古舘さんの熱い実況の下でプロレス中継のように描きます。1日を戦い抜いた主人公が帰宅し、「THE DRY」を飲んで「ダァー—！」と声を上げる姿を通じて、「THE DRY」ならではの、従来のRTDとは一線を画す“新ドライ体験”を訴求します。



■新 WEB-CM について

「THE DRY」は、1日を戦い抜いた大人たちに“ノドがうなる”ような刺激感を訴求することをコンセプトとする、坂口憲二さんを起用した TV-CM を、10月16日(金)からオンエアしています。

新 WEB-CM シリーズでは、“燃える闘魂”を感じさせる TV-CM の世界観はそのままに、働く大人たちの日常をプロレスの試合に見立てて描きます。舞台となるのは「営業フロア」と「食品スーパー」。終業間際に上司から「5分だけ」と呼び止められるオフィスワーカーや、次々と訪れるお客様への対応に追われるスーパーマーケットの従業員など、働く人が思わず共感するような場面を描きます。

そんな日々の奮闘を、古舘さんがプロレスの試合さながらに熱く実況。何げない仕事の風景が、古舘さんならではの臨場感あふれる実況で、手に汗握る熱戦へと変わっていきます。

そして1日を戦い抜いた主人公たちは、帰宅後に「THE DRY」をひと口。「1、2、3、ダァー！」とノドをうならせます。働く大人たちの奮闘と、1日の締めくくりに味わう「THE DRY」の“新ドライ体験”を、熱く、ユーモラスに描きます。

<「営業フロア」シリーズ>

会議での無理難題や、終業間際の上司からの呼び止めなど、思い通りにいかない仕事の日常。それでも立場上、言いたいことをのみ込みながら、目の前の仕事に向き合う会社員を俳優・濱津隆之さんが演じます。古舘さんの実況を通じて、働く大人たちが表には出せない心の内を代弁し、その奮闘を熱く盛り上げます。



THE DRY「村田シゲル VS リモート会議」篇(43秒)

毎週恒例のリモート会議に向け、髪を整え、背景もセットして参加する村田シゲル(出演: 濱津隆之)。しかし、ほかの参加者は全員カメラオフで、自分だけが見られ続けることに。戸惑いながらも会議に臨む姿を、古舘さんが熱く実況します。



THE DRY「村田シゲル VS 経営戦略会議」篇(39秒)

会議で次々と突きつけられる、予算削減、残業ゼロ、売り上げ120%という、一見矛盾するような高い目標。八方ふさがりになりながらも必死に対応する村田の状況を、古舘さんが熱く実況します。



THE DRY「村田シゲル VS 5分だけ」篇(44秒)

長い一日を終え、パソコンを閉じた村田に、上司が「5分だけ、ちょっといい？」と声を掛けます。本当に5分で終わるのかと疑いつつも、応じる村田。しかし、余談ばかりで時間は過ぎていきます。「ほどこどにしたいところだが、まさに雑談の無制限一本勝負！」という古舘さんの実況が、村田の心の内を代弁します。

＜「食品スーパー」シリーズ＞

スーパーマーケットで、お客様への対応に追われる従業員を俳優の赤間麻里子さんが演じます。セルフレジのトラブルや支払い方法の確認、値引き商品を求めるお客様への対応など、次々と生じる難局に戸惑いながらも、懸命に仕事に向き合う姿を描きます。古館さんが、その日常の奮闘をプロレスの試合さながらに実況します。



THE DRY「花山ケイコ VS セルフレジ」篇(38秒)

バーコードのスキヤンなど、セルフレジの操作に迷うお客様への対応に追われる花山ケイコ(出演:赤間麻里子)。レシートの紙詰まりやエラーも重なり、呼び出し音が鳴りやみません。次々と対応に走り回る姿を、古館さんが臨場感たっぷりに実況します。



THE DRY「花山ケイコ VS レジの支払い」篇(45秒)

レジで対応していないカードばかりお客様に提示されるため、確認に追われる花山。対応可能カードを示すパネルは、機能していません。「申し訳ない。謝罪の無限ループだ！」という古館さんの実況が花山さんの様子を表現します。



THE DRY「花山ケイコ VS 割引き」篇(44秒)

お総菜コーナーで、値引き商品を求めて集まるお客様の勢いに圧倒される花山。お客様からはもっと値引きシールを貼ってほしいとの声上がる。それでも懸命に対応する姿を、古館さんの力強い実況が盛り上げます。

■古館さんインタビューコメント

——最初に企画を聞いたときの印象を教えてください。

最初の絵コンテ段階では「1、2、3、ダァー！」というところで、猪木さんにちなんだ企画だということは分かったんですけど、それ以外は全くイメージがつかみませんでした。その後、TV-CMの内容を見たら坂口憲二君がやっていて、闘魂タオルも緑に変わっている。猪木リスpektというのか、猪木トリビュートというのか分からないけど、そこでようやく僕が起用された意味が理解できました。

——働く人の日常を描いたCMですが、印象に残った場面はありますか？

私は登場人物の世代からは少し離れていますが、スーパーのレジもそうだし、中間管理職もそう。リモート会議で自分のもくろみと違う方向に話が進んでしまったりするのも、やっぱり大変だよなって思いますよ。今の40～50代の人たちは、さらに大変なんじゃないかなと。経費削減も売り上げ向上も、どちらも当たり前求められる。でも、相矛盾するように見えるその隙間を縫いながら、生産性を上げていかなきゃいけないわけでしょ。バブルを経験した僕の40代の頃と比べたら、もっと世知辛くて大変だなと思っちゃいますね。

——1日の終わりに気持ちを切り替えるための習慣はありますか？

ルーティンというほどではないですが、僕は疲れているときに、よく逆療法的なことをやるんです。疲れているのに腕立て伏せをやったり、スクワットをしたりします。本当はよくないですが、「疲れているから休む」「コンディションがいいから筋トレをする」という定番が、僕には全く面白くないんですね。定番から外れることこそ猪木流で、「非常識たれ」ということです。非常識っていうのは、「馬鹿になれ！」ってことです。自分の趣味嗜好に従って、好きなことを楽しむ。それが一番楽しくて、結果的には自分の精神にもいい影響を与えるんじゃないかと思います。

——今年をプロレスの一試合に例えると、今はどんな局面でしょうか？

プロレスで、リングアナウンサーが「残りあと5分！」って言うじゃないですか。今の僕はまさに「残りあと5分！」と言われていたような気分ですよ。僕も72歳になるので、22歳でアナウンサーになって、来年で50周年ですよ。しゃべり手としての生存時間に、だんだん限界が見えてきていて、もうロープサイドです。でも、ここでもうひと踏ん張り頑張って、人生という60分フルタイムを満喫したい。そのためには、今の自分をあまり信じないことが大事だと思うんです。いつも自分が思っていることに対して実況して、「さあ、おまえ、偉そうなことを言っているけど、本当に正しいのか？」って、自分自身を疑ってみる。そうやって今の自分を疑っていないと、自分を更新できないんですよ。自分を疑いながら生きるっていうのは、少し面倒くさいけど、楽しいんです。

■新 WEB-CM 概要

▼「営業フロア」シリーズ

タイトル(URL) : THE DRY「村田シゲル VS リモート会議」篇
(<https://www.youtube.com/watch?v=klOpM7PHN5c>)
: THE DRY「村田シゲル VS 経営戦略会議」篇
(https://www.youtube.com/watch?v=Ae_1UnTc7no)
: THE DRY「村田シゲル VS 5分だけ」篇
(<https://www.youtube.com/watch?v=O3wmdhmUZYw>)
出演 : 濱津隆之
ナレーション : 古舘伊知郎
公開日時 : 2026年10月23日(金) 10:00

▼「食品スーパー」シリーズ

タイトル(URL) : THE DRY「花山ケイコ VS セルフレジ」篇
(<https://www.youtube.com/watch?v=-QBjWGI8OIY>)
: THE DRY「花山ケイコ VS レジの支払い」篇
(<https://www.youtube.com/watch?v=MVbs8m4JzBg>)
: THE DRY「花山ケイコ VS 割引き」篇
(<https://www.youtube.com/watch?v=0QHYtmgs-LE>)
出演 : 赤間麻里子
ナレーション : 古舘伊知郎
公開日時 : 2026年10月23日(金) 10:00

■「THE DRY」について



▼中味・パッケージについて

中味は、“ノドがうなる”ような刺激感を追求しました。「インパクトドライスピリッツ※¹」により、鮮烈な香り立ち・味わいとキレを、また高密度※²で力強い※³炭酸により、ノドに押し寄せるような感覚をお楽しみいただけます。

パッケージは、果実で壁を打ち抜く様子をモチーフとしてあしらうとともに、“ノドがうなる果実のドライ”の文言によって、刺激感を重視した中味の特長をわかりやすく訴求しています。

※¹ 当社が新規に開発した、グリーンレモンの特長を活かした原料酒

※² 「こだわり酒場のレモンサワー」および「ー196ストロングゼロ〈ダブルレモン〉」を対象とした平均より高い(2026年5月時点)

※³ サントリー 一部主要チューハイ平均値比

▼商品概要

商 品 名	容 量	希望小売価格 (税別)	アルコール 度数
ザ ドライ THE DRY〈グリーンレモン〉	350ml	179円	7%
	500ml	245円	
同〈グレープフルーツ〉	350ml	179円	
	500ml	245円	

※価格は販売店の自主的な価格設定を拘束するものではありません

▼発売期日 2026年10月20日(火)

▼発売地域 全国

▼品 目 リキュール(発泡性)

▼「THE DRY」ホームページ

<https://www.suntory.co.jp/rtd/thedry/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>